

※新型コロナ5類移行後も感染防止のため、引き続きご協力をお願い致します。

※「自問タイム」として、「下野新聞読者登壇」(10代の声)への投稿に挑戦しています。是非ご覧下さい!



学校だより 若竹
学校教育目標「自ら学び考え行動する生徒」
スローガン～やる気・笑顔・感謝～



9月号 (第27号)
令和6年9月3日
都賀中学校長 倉井 誠(文責)

みんな元気に第2学期スタート!

今年の夏休みは、7月20日(土)～9月1日(日)までの44日間でした。こうして夏休みを終え、生徒の皆さんが、全員元気に集うことができ、とても嬉しく思います。保護者の皆様を始め、地域の皆様の日頃からの温かいご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。

まだまだ、残暑が厳しい中ですが、二十四節気では「白露」となり、少しずつ秋へと季節の移ろいを感じられます。

始業式の校長式辞では「明るく元気で、勉強や部活動はもちろん、学校生活に真剣に取り組み、努力する都賀中生徒」になって欲しいということで、3つのことを話しました。

- 夢と希望を持って努力する
- 何事も前向き・プラス思考
- 自主・自立・自律を忘れない

学校といたしましても、第2学期も本校教職員一丸となり、全力で本校の教育活動を進めて参ります。今後とも本校の教育活動に温かいご理解、温かいご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

●第2学期学級委員長・各部の新部長の皆さんの活躍に期待!

9月2日(月)の始業式後に、2学期の学級委員長の任命式を行いました。学級委員長や各部の新部長は、第2学期を迎えるの抱負や部活動の目標等をしっかりと発表し、気持ち新たに、よりいっそう頑張ろうという強い意志が感じられました。

今学期は、運動会や合唱コンクールを始めとする輝響祭や種々の学校行事が予定されています。学級委員長には、1学期にも増して、学級のリーダーシップを取り、素晴らしい学級、一人ひとりが輝ける学級をつくって欲しいと願っています。また、各部の新部長には、これまでのよき都賀中学校の伝統を引き継ぎ、ますますの活躍を期待しています。頑張ってください。(敬称略)

所属	1年生	2年生	3年生
1組	****	****	****
2組	****	****	****
3組	****	****	****

部活動名	新部長名
サッカー	****
男子ソフトテニス	****
女子ソフトテニス	****
男子バレーボール	****
女子バレーボール	****
男子バスケットボール	****
女子バスケットボール	****
卓球(男子)	****
卓球(女子)	****
吹奏楽	****
美術	****



つが盆ボランティア(8/3)お役に立てましたね!

ゴミ箱設置や会場準備等のボランティアとして、本校26名の生徒の皆さんが活躍してくれました。大変暑い中でしたが、一所懸命活動する姿が立派でした。夏のいい思い出ができましたね。



部活動 3年生お疲れ様！ 県総体等結果 (吹奏楽部含む)

保護者の皆様には、大会会場への引率協力等、大変お世話になりました。本大会をもって、3年生の運動部は、全ての部が引退となりました。1学期末の校長講話で話したとおり、生徒たちは、持てる力を存分に発揮し、最後まで諦めずに戦い抜く姿は、本当に爽やかでした。どの部も健闘し、特に女子バスケットボール部、男子バレーボール部、サッカー部は県ベスト8の成績を残すことができました。

観戦していた私たちも大きな感動をもらい、心から拍手を送らずにはられませんでした。本当にお疲れ様でした。この頑張りを、日頃の生活に是非、生かして欲しいと思います。

男子バスケットボール部

- ・1回戦勝利：58-31 真岡中
- ・2回戦惜敗：47-58 一条中

女子バスケットボール部 ベスト8

- ・2回戦勝利：75-49 西那須野中
- ・3回戦惜敗：49-59 今市中

男子バレーボール部 ベスト8

- ・1回戦勝利：2-0 河内中
- ・2回戦勝利：2-0 佐野南中
- ・3回戦惜敗：0-2 清原中
- ・関東大会決定戦1回戦惜敗：1-2 横川中

女子バレーボール部

- ・2回戦惜敗：0-2 若松原中

女子ソフトテニス部

- 個人戦（***組）
- ・1回戦惜敗：0-3 明治中

サッカー部 ベスト8

- ・1回戦勝利：6-0 今市中・大沢中合同
- ・2回戦勝利：1-1 (PK 5-4) 厚崎中
- ・3回戦惜敗：0-4 氏家中

吹奏楽部 銅賞

- ・第66回 栃木県吹奏楽コンクール



「自ら学び考え行動する生徒」の実現に向けて

本校の学校教育目標「自ら学び行動する生徒」の実現のために、入学式などの儀式的行事や全校集会、学校行事など、機会を捉えて関連した話をしています。

そして、令和4年度から、自己内対話をし、自分と向き合う時間を確保し、書くことを通して、この達成のために「自問タイム」を設定（毎月1回、朝の活動の時間を活用）し、下野新聞読者登壇「10代の声」に投稿をする活動をしています。

書くことが苦手な生徒もいますが、今後もこの取組を継続し、支援できればと考えています。掲載されることが目標ではありませんが、この夏休み中にもたくさんの本校生徒が掲載されました。以下に、今年度の本校生徒の掲載者を紹介します。（9/3現在、21名、太字は夏休み中に掲載された生徒です。）

- ・3年生：******さん**、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん（8名）
- ・2年生：******さん**、****さん、****さん（3名）
- ・1年生：******さん**、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん（10名）

【まことーク】 その5～「しつけ」と「おしつけ」

今年の夏も昨年以上の猛暑となりましたが、お陰様で大きな事件事故もなく、先ずは良かったと思っています。台風10号の心配もありましたが、先日のPTA奉仕作業も大変お世話になり、ありがとうございました。

さて、以前、栃木市教育員会生涯学習課で実施している「HAPPY子育てコラム」欄に、以下のような文章がありました。

…「仕付け(しつけ)」というのは、和裁の言葉で、着物を縫う時、本縫いの前に襟などを間違わないできちんと縫うための仮縫いのことです。この時、使う糸は「仕付け糸」といって、きれやすい弱い糸を使います。この「仕付け」の段階で手を抜くときれいに仕上がりません。子どもの「しつけ」も「仕付け糸」と同じように、弱い糸でおおよその方向性をつけてあげることが大事なのかと思います。心の柔軟な幼児期に、いい習慣(しつけ)をつけることが、今後のよりよい成長へとつながります。いい習慣をつけることは、とても大事なことです。いい子にしようと思うあまり、強い糸で、子どもの個性をきちきちに縫い付けてしまうのはどうでしょうか。「しつけ」が「おしつけ」となり、力で強制的にやらせるようになると、「虐待」になりかねません。「しつけ」とは、子どものよりよい生活習慣や人とかかわる力、感情や意思を伝える力などを獲得し、自立していくための大まかな道筋を親が示してあげることです。子どもの自由や安心できる場を奪わず、自信をもって生きていけるよう、親が見守ってあげましょう…。といった内容でした。

私はというと、幼児期の子育てがどうだったのかはよく覚えていません。ただただ無我夢中で、あっという間に子育てが終わってしまったように思います。皆様もどうぞ、「しつけ」を気張らずに楽しんで下さい。忙しい毎日かと存じますが、子育ての時期は、本当にあっという間です。(子どもと一緒に遊んでいた頃を思うと、今は、ちょっと寂しさも感じる今日この頃です。それなので、今は家庭菜園と猫との遊びが毎日の楽しみとなっています。)

※「まことーク」は“誠の話”をさせて頂いています。